

令和6年度当初予算案



令和6年2月19日

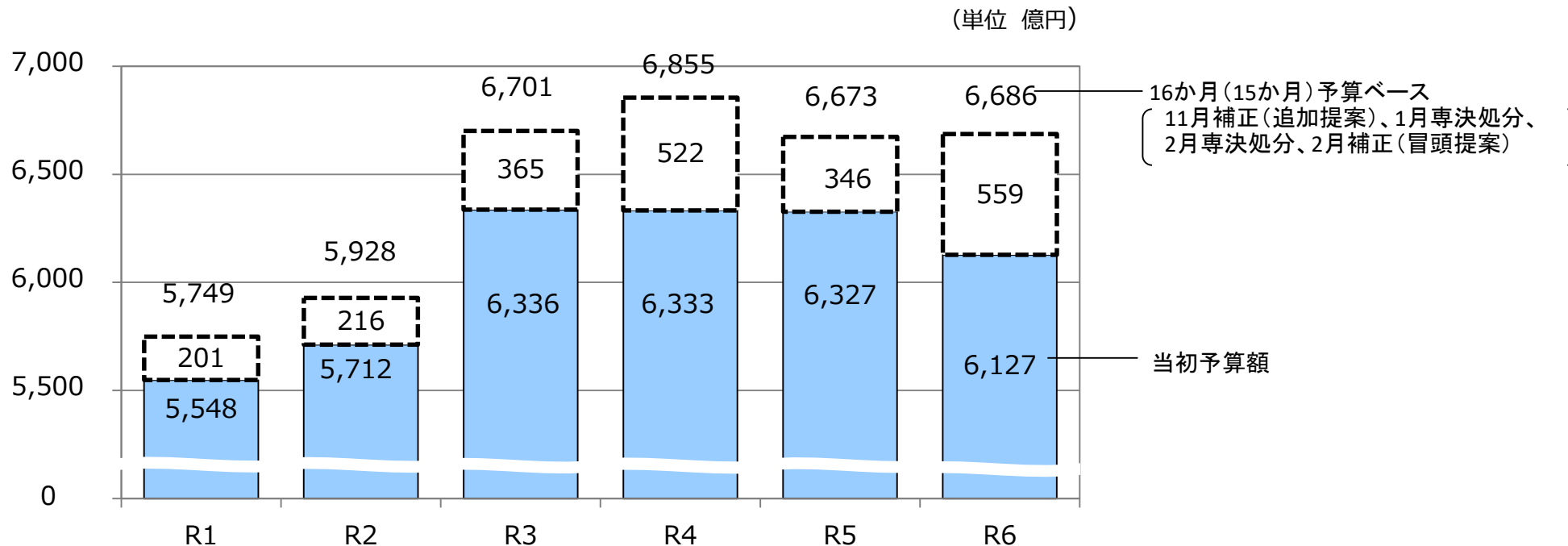
予算規模など

令和6年度一般会計当初予算案額

6,126億5,553万円

併せて令和5年度11月補正予算（追加提案324億円）、1月補正予算（専決処分112億円）、2月補正予算（専決処分69億円）
2月補正予算案（2月議会冒頭提案54億円）などを含めた16か月予算ベースでは **6,686億2,169万円**

➡ 当初予算では、コロナ関係経費の減などにより、前年度から減少するものの、16か月予算ベースでは、能登半島地震からの復旧・復興経費の増などにより前年度（16か月予算）と同規模



当初予算案のポイント（1）

1. 令和6年能登半島地震からの復旧・復興

<244億円>

(R⑤1月専決112億円、2月専決69億円、2月議会冒頭提案19億円、R⑥当初44億円)

令和5年度の補正予算（1月12日専決処分・2月6日専決処分・2月議会冒頭提案）に続き、被災された県民や事業者の皆さんの暮らしや事業活動の支援に取り組む

2. 未来に向けた「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築(新規・重点経費)

<90億円>

(R⑤96億円)

未来へ向けた「人づくり」

- こどもまんなか社会の実現、女性活躍の推進
- 教育の充実など人材育成の推進
- 健康寿命の延伸、医療・介護人材の確保 など

「新しい社会経済システム」の構築

- 新産業の創出、官民連携の推進
- 産学官連携によるDXの推進
- 公共交通への投資・参画、持続可能な地域づくり
- SDGsの推進、カーボンニュートラルの実現
- 関係人口の創出・拡大、観光振興など選ばれる県づくり など



幸せ人口1000万～
ウェルビーイング先進地域、
富山の実現に資する重点
施策を着実に推進

当初予算案のポイント（2）

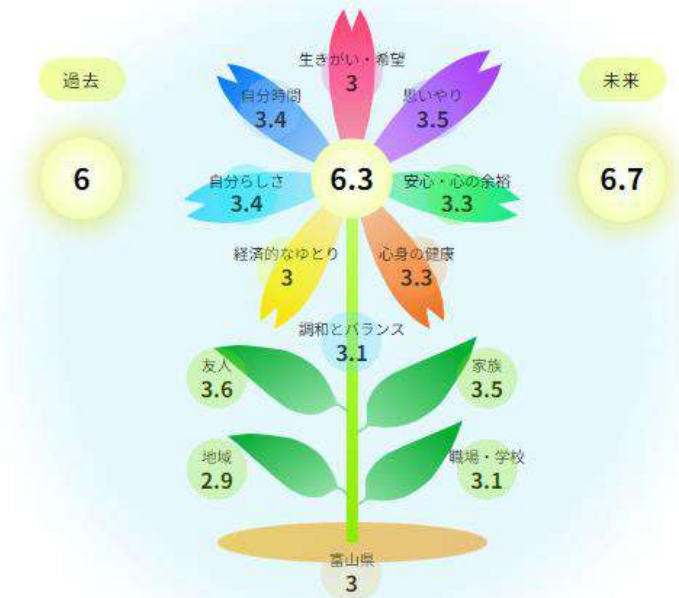
3. ウェルビーイング指標を活用した課題解決

<15億円> （※その他、関連するインフラ整備等の経費あり）

部局にとらわれないテーマを設定し、**施策設計図**（県民のウェルビーイング向上を意識した事業の整理）に基づき、**ウェルビーイング指標を活用**し、パッケージとして新たに企画・立案した事業に優先的に配分

▶ 4つのグループ・**23**テーマの事業パッケージ

- 1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング
 …「若者・こどもを取り巻く“つながり実感”の充実」など **6** テーマ
- 2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング
 …「働きがいを実感できるウェルビーイング経営の実現」など **6** テーマ
- 3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり
 …「地域防災力向上による安全・安心実感の充実」など **4** テーマ
- 4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展
 …「ウェルビーイングを支え、高める住まいの確保」など **7** テーマ



当初予算案のポイント（3）

4. 既存事業の抜本的見直し・再構築

令和5年度当初予算に続き、長年にわたり継続している事業などは、県民や事業者、関係団体の現場の声に加え、デジタル技術の進展など現下の社会情勢の変化を踏まえ、**事業の統廃合を含め、抜本的に見直し**

➡ 令和6年度当初予算における見直し額は、**事業費ベースで17.7億円**（R⑤10.5億円）

【主な取組み事例】

(1) 官民協働事業レビューを踏まえた「県民目線」での見直し

○地域防災力向上支援事業の見直し（危管）

・自主防災組織に対する補助事業を統合整理し、利用しやすい制度に見直し

○中小企業デジタル変革推進事業の見直し(商労)

・デジタル化の相談窓口において新たに伴走型支援プログラムを設けるなど、相談・支援体制を強化

○地域おこし協力隊定着率向上対策事業の見直し(地創)

・国、県、市町村の役割を整理し、県の役割として実施する取組みを充実強化

○6次産業化とやまの魅力発信事業の見直し(農水)

・採択時の審査を厳格化したうえで、計画策定からフォローアップまでの伴走支援を強化

(2) デジタル技術の活用をはじめとする社会情勢の変化への対応

○とやまの観光魅力発信事業の見直し（地創）

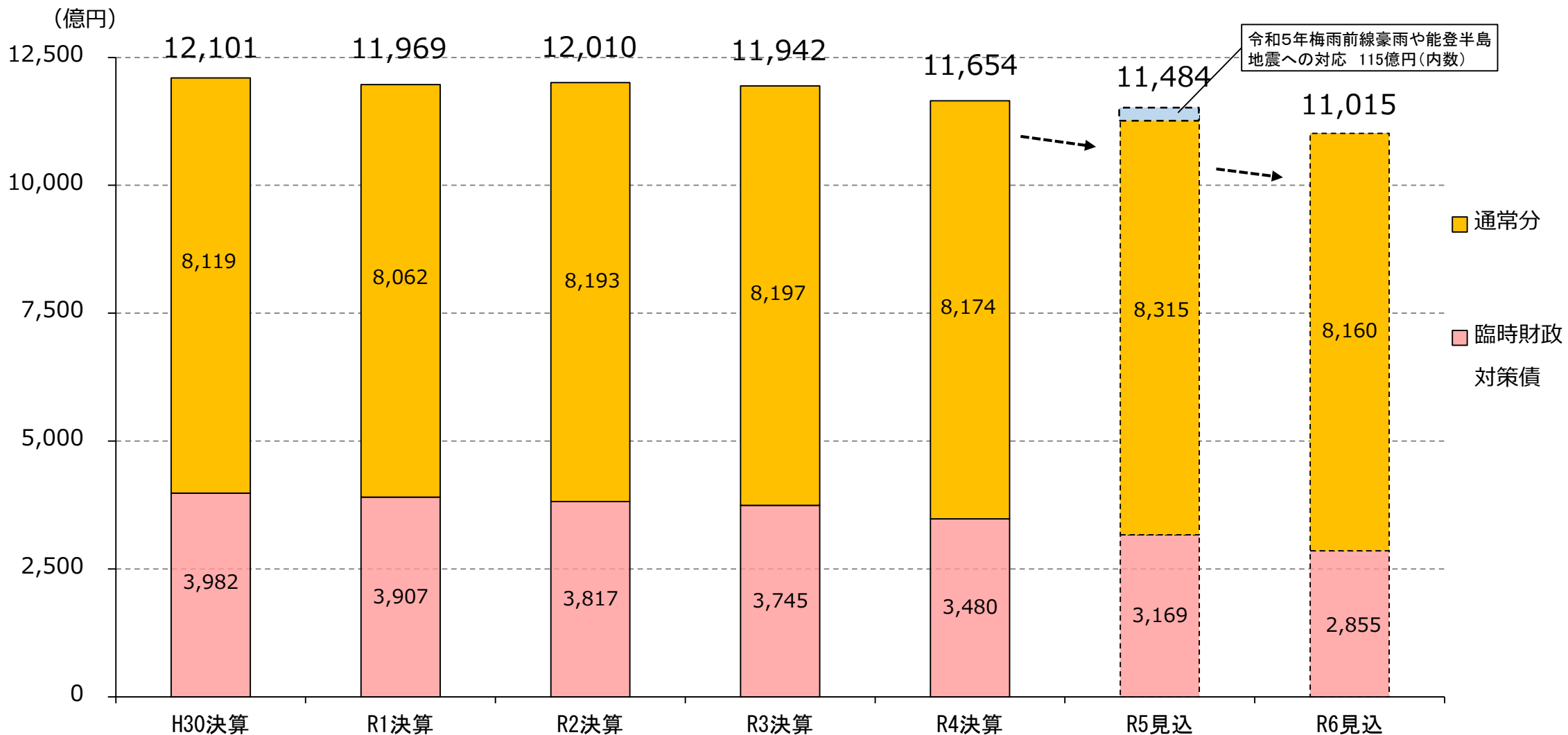
・観光情報を戦略的・効果的に発信するため、パンフレット等の紙媒体から、観光サイト「とやま観光ナビ」を活用したデジタルによる情報発信にシフト

○教材、報告書、事例集等のデジタル化（生環・教委）

・教育委員会が作成する教材、報告書、事例集や家庭での脱炭素の取組みの拡大を図る小学生向けの環境教材「とやま環境チャレンジ10」などをデジタル化

（参考）県債残高の見通し

県債残高は、能登半島地震対応等で増加するものの、臨時財政対策債の償還が進むことで、引き続き減少する見通し



※R6は当初予算起債見込額のみ計上